

Book Review



これから始める

歯科医のための科学英語論文ガイド
ジャーナル・論文のしくみがわかると読み方も書き方も
上手くなる

兒玉直紀 編著



Reviewer

大久保力廣 Chikahiro Ohkubo
(鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座)

A4 判変, 96 頁
2 色
定価 5,500 円
(本体 5,000 円+税 10%)
医歯薬出版刊



「まったくいつも驚くような仕事をされる」というのが、私のもっている編著者の兒玉直紀先生のイメージです。学会等でよくご一緒させていただいているのですが、兒玉先生はいつも斬新で鋭い見識の企画を発案され、非常に興味深い実績を残されています。その兒玉先生がこのたび、企画、執筆、編集されたのが、この「歯科医のための科学英語論文ガイド」です。本書は若手研究者や若手臨床家が敬遠しがちな科学英語論文を、できるだけ身近に捉えて親しみやすくするために、たくさんさんの明瞭な図表を取り入れ、できるだけ平易な文章で解説した、これまでとは一線を画したガイド本です。

本書は3章から構成されており、第1章は英語論文の仕組みをまず理解するために、「論文の読み解きに必要な基本的知識」と題して、インパクトファクターやh-indexといった学術雑誌独自の専門用語やQ1ジャーナルとして評価されている代表的な16の歯科系学術雑誌の紹介、Clinical

questionの立案方法や文献検索の実際に関して非常にわかりやすく解説しています。本章により、英語論文が最新の知見や新技術の情報を得るために、必要不可欠な媒体であることに気づき、たとえ英語が苦手であっても英語論文の読み書きに興味をもつことができるのではないのでしょうか。

第2章では、「論文読み解きガイド」として、原著論文、論説、編集者への手紙、症例報告、短報、総説、技術的方法といった論文の種類を概説し、それぞれの読み方を示唆しています。一般的なAbstract, Introduction, Materials and Methods, Results, Discussion, Conclusion, Referencesの論文構成を説明し、論文の読み解き方や読む順序についても適切なアドバイスをしています。また論文のエビデンスレベルについても詳しく言及され、システムティックレビューならびにメタアナリシスの解釈の仕方や注意事項、バイアスの評価も丁寧に解説しています。

第3章では「論文がジャーナルに掲載されるまで」の知っておきたい論文投稿の流れを示され論文執筆の手ほどきをしています。また英語論文を書くための前準備として「報告ガイドライン」についてフローチャートや実例をあげ、必要性を明示されているわけです。さらに具体的な執筆手順やポイント、投稿前の最終チェックや投稿作業、投稿後の査読への対応、自身が査読者として推薦されたときの応答等を実際の論文やジャーナルを例にとりて助言しています。

科学英語論文は大学人だけでなく、臨床家にとっても必要なエビデンスを得るため、発信するためのきわめて重要なツールです。終始、読みやすく簡単な言葉で綴られていますので、歯科医師だけでなく歯科医療従事者にも、まずは本書を手にとっていただき、常日頃から科学英語論文に慣れ親しんでいただきたいと思います。